

<英語語法マスター④> 動詞の語法④

1 SVO と V タイプの動詞一覧

<SVO と V 型の代表的な動詞>

- ① () 「OにVするよう忠告する」→直後にto VはX! ()ならO
 ☆ ()や()をとることもできる。
- ② () 「OがVするのを許す」→ ()は続かない! (受身多)
 ☆ 「認める」の意味だと、()と()をとる。
- ③ () 「OにVするよう頼む」→ ()で表すことはできない!
- ④ () 「OがVする原因となる」(受身多)
- ⑤ () 「OにVするよう命じる」→ ()はX!
- ⑥ () 「OにVすることを強いる」→ ()は続かない! (受身多)
- ⑦ () 「OにVするよう追いやる・駆り立てる」
- ⑧ () 「OがVするのを可能にする」← 無生物主語の構文によく使われる!
- ⑨ () 「OがVするよう励ます・勧める」
- ⑩ () 「OがVすると予期する・期待する」= ()
 ※ () 「Vするつもりである」
- ⑪ () 「OにVすることを強いる」→ ()は続かない! (受身多)
- ⑫ () 「OにVするよう勧める」※ () 「OをAに招待する」
- ⑬ () 「OにVするのを任せる」← () 「OをOに任せる」
- ⑭ () 「OにVするようにし向ける」※ () 「Aへ通じる」
- ⑮ () 「OにVしてもらいたい」← () 「Vしたい」
 = () / () / ()
- ⑯ () 「 = ()
 ※ () 「AをBに注文する」← toはダメ!
- ⑰ () 「OがVするのを許す」→ ()は続かない! (受身多)

1 つづき

⑮ () 「Oを説得してVさせる」= ()
 → 「納得させる」の意味では () をとる。← 「Oに～を納得させる」

⑯ () 「OにVすると約束する」← Oは意味上の主語ではない!
 He promised me to come at nine. 「彼は私に9時に来ると約束した」
 → 「come」するのはOである「me」ではなくSの「He」!

⑰ () 「OにVすることを思い出させる」← 原因・動機となるものをSにする
 ※ (/) 「AにB[SV]を思い出させる」

⑱ () 「OにVするよう要求する」→ Oには () も可! ← 原形系!

⑳ () 「OにVするよう言う」

㉑ () 「OがVするよう強く促す」→ () ・ () は不可!
 ☆ 「」の意味では that 節をとる! ← 原形V系

㉒ () 「OにVするよう警告する」→ () も可
 「AにBを警告する」→ ()

2 SVO to Vの形をとれない注意すべき動詞

① () 「認める」→ () / () / ()

② () 「許す」→ () / () 「AをBのことで許す」

③ () 「許す」→ () 「AをBのことで許す」

④ () 「要求する」→ () / () 「AをBに
 請求する」

⑤ () 「提案する」→ () / ()

⑥ () 「提案する」→ () / ()

④～⑥は「人」を目的語としておくことができない。→ () にする!

⑦ () 「説明する」→ (/) ← O₁O₂はダメ!

⑧ () 「希望する」→ () / () / ()

「㉑がVするのを望む」 「SがVでありますように」 「Aを期待する」

⑨ () 「禁じる」→ () 「㉑にVすることを禁じる」